世界が進むチカラになる。

MUFG

成長を生み出すMUFGのチカラ
PART3
―よくあるご質問

2026年10月

三菱UFJフィナンシャル・グループ

本資料には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポートをご参照下さい。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の計数は日本会計基準ベースの数値（本邦の管理会計基準を含む）を使用しています。

目次

Part1・2の振り返り 4

Q1 MUFGの株主になるとどんなメリットが？ 7

Q2 株価上昇はこれからも期待できる? 11

Q3「金利ある世界」による利益への影響は？ 14

Q4 AIへの投資や、社内での取り組み状況は？ 18

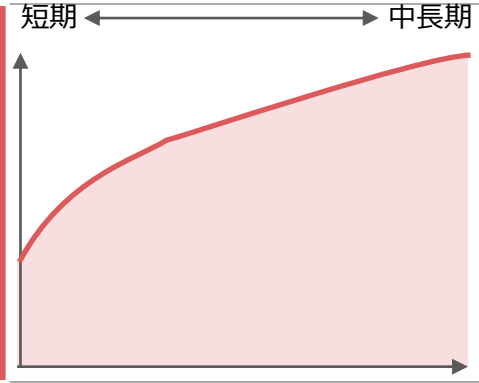
Q5 MUFGの預金獲得戦略は？ 20

Q6 成長を生み出すMUFGのチカラとは？ 23

MUFGのチカラ –それぞれのポートフォリオが描く成長曲線

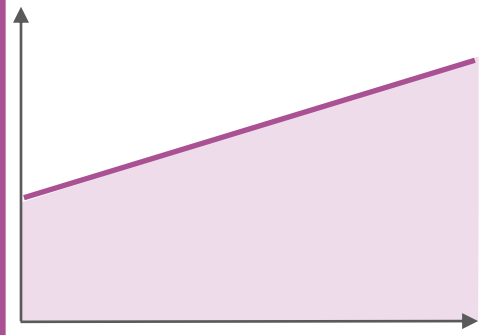
▼ 利益成長のイメージ

国内



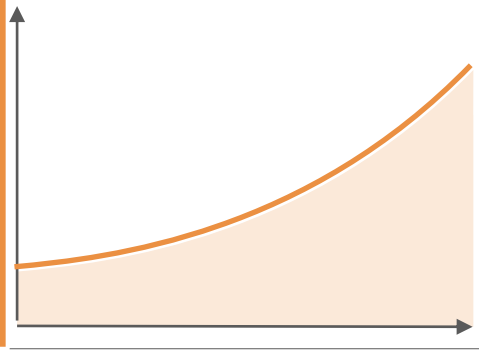
- **短期：**
  政策金利の上昇に伴い国内最大の顧客基盤が収益に大きく貢献
- **中長期：**
  事業共創と資産運用機能の強化を通じ、
  社会やお客さまの成長を創り、直接・間接金融両面で支援

米州



- **短期ー中長期：**
  投資銀行やプロジェクトファイナンス、O&D等の強みを有する領域や
  モルガン・スタンレーとの提携が、底堅い成長を実現

アジア



- **短期・中期：**
  各国の成長に応じてリソースを適切に配分し、出資先との協働や
  MUFGの経済圏の確立に注力
- **中長期：**
  MUFGの経済圏がユニークなシナジーを生み出し成長に大きく貢献

MUFGのチカラ –MUFGを表す数字

変化を柔軟に察知し、グループ総合力を発揮して社会やお客さまの課題解決に貢献する

⇒「世界が進むチカラになる。」

親会社株主純利益	
前年度実績	**2.4**兆円 →**3**年連続過去最高益更新
今年度目標	**2.7**兆円

今年度配当	
一株当たり	**96**円予想 →5年で約**3.4**倍
配当性向	**40**%程度

ROE	
中長期目標	**12**%程度

株価	
時価総額	約**41**兆円*1 →銀行セクター**1**位、東証TOP**5**

グローバルTop5入りへ

*1 2026年9月末時点（自己株式を除く） （出典）Bloomberg

投資家の皆さまからのよくあるご質問

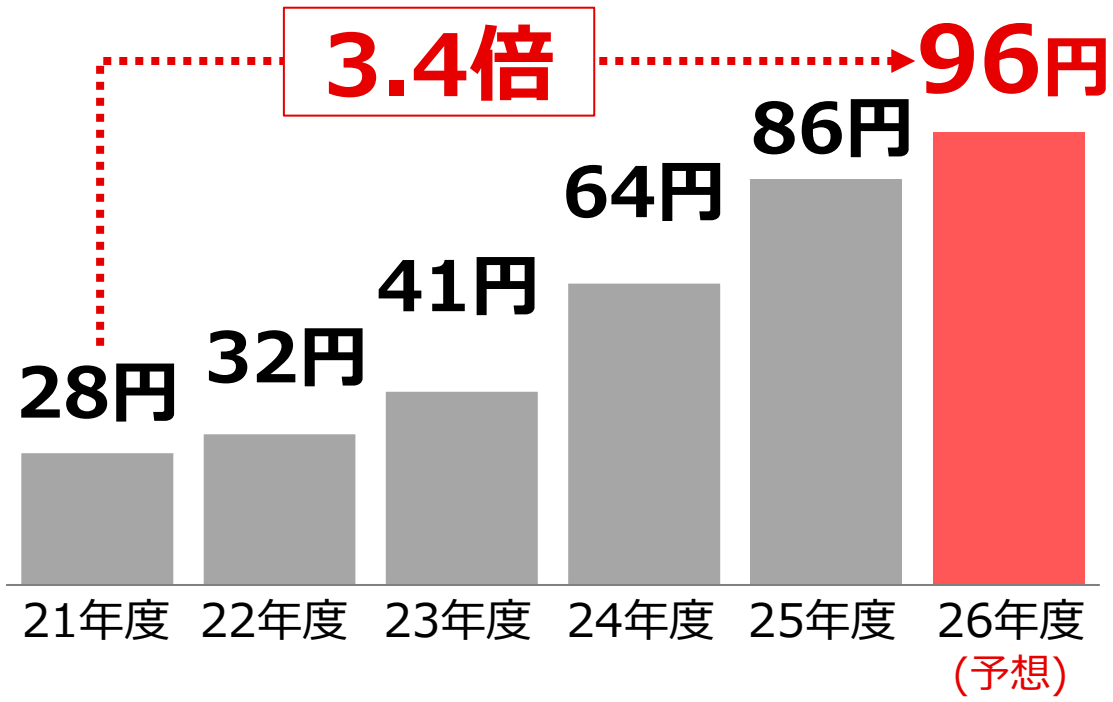
Q

MUFGの株主になると
どんなメリットが？

株主への還元の実績

一株当たり配当

累進的な配当



26年度

増配予想

＋10円

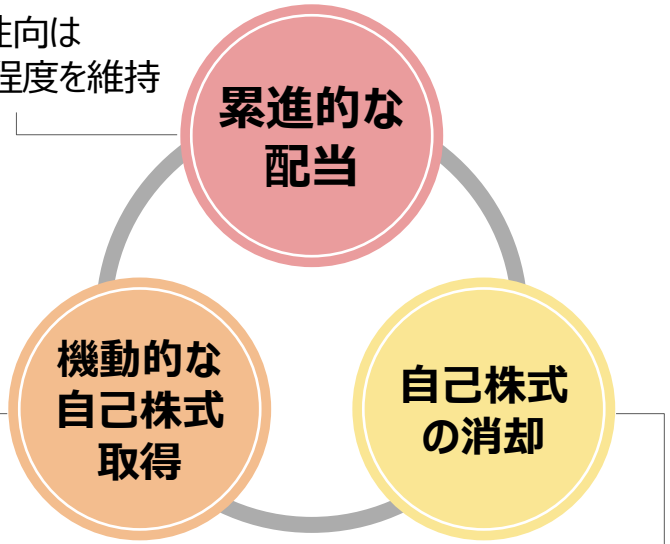
自己株式取得

1,000億円
（上期）

株主還元方針と還元推移

株主還元の基本方針

配当性向は
40%程度を維持

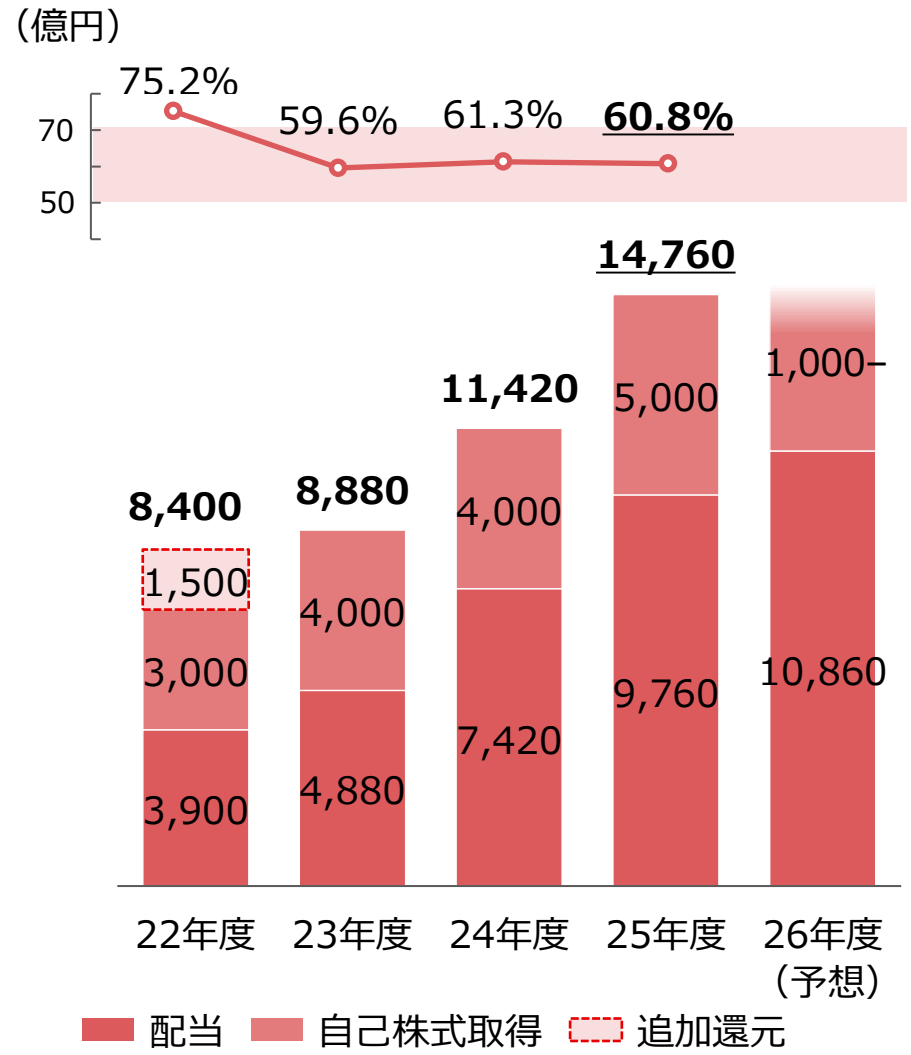


以下を勘案して実施
- 業績・資本の状況
- 成長投資の機会
- 株価を含めた市場環境

発行済み株式総数の
5%程度を上限

**規律のある資本運営のもと、
株主還元の一層の充実を図る**

総還元額と総還元率の推移



株主イベント

開催イベントの例*1

MUFGスタジアム見学ツアー



国立競技場の
ナショナルスタジアム
パートナーとして、
国立競技場の価値向上、
社会課題の解決に取り組み

MUFG社会課題解決×堺SAF工場見学ツアー



社員食堂の廃食用油を
供給している
国内初の国産SAF
（持続可能な航空燃料）
製造所

東洋文庫ミュージアムの貸切見学



三菱第三代社長
岩崎久彌が
1924年に設立した
東洋学の研究図書館

三菱一号館美術館の貸切観覧



三菱が1894年に建設した
「三菱一号館」
（ジョサイア・コンドル設計）
を可能な限り
忠実に復元

MUFGへの理解を一層深めていただけるような機会の提供

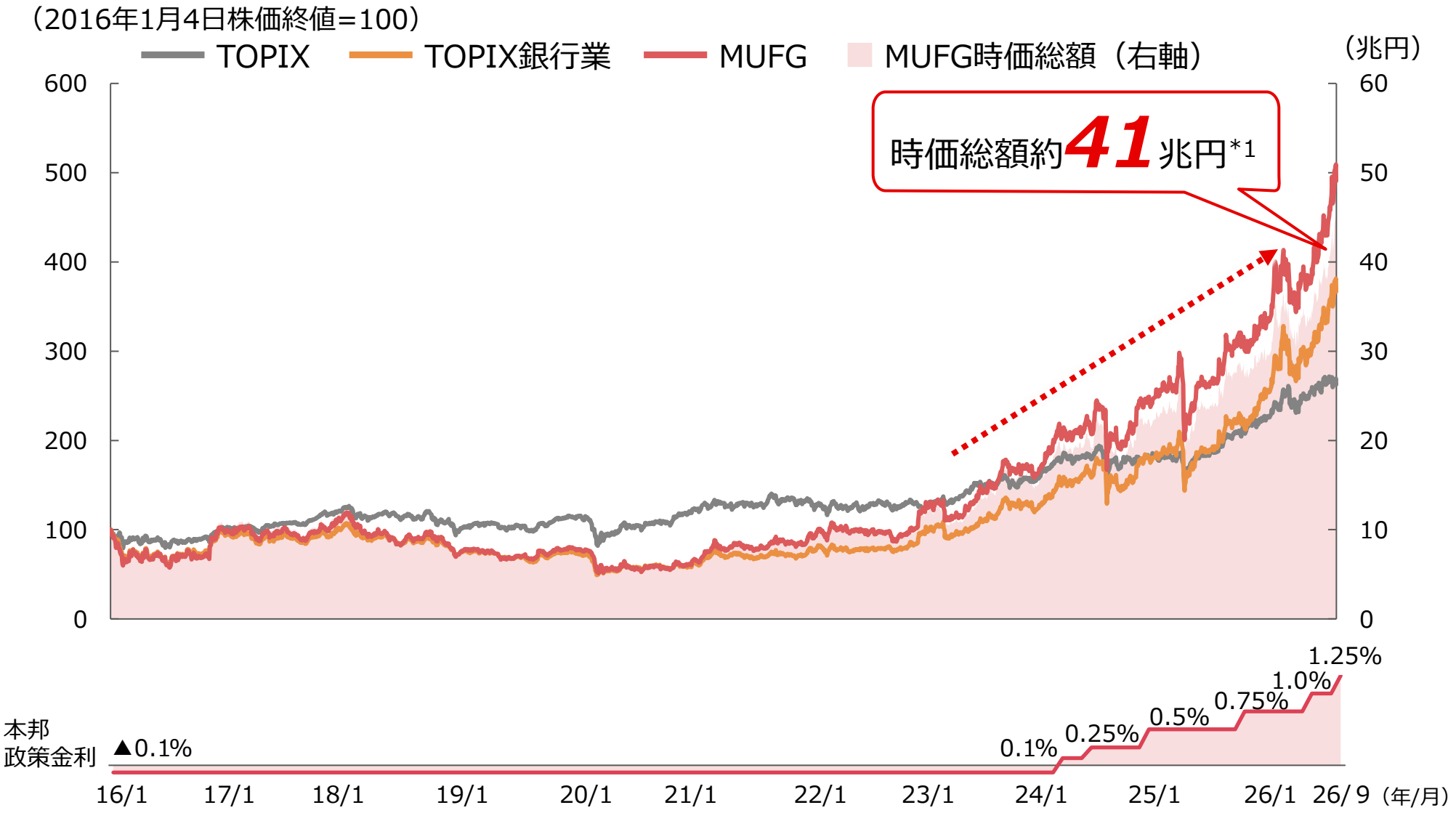
*1 2026年実施済分、抽選制

投資家の皆さまからのよくあるご質問

Q

株価上昇は
これからも期待できる?

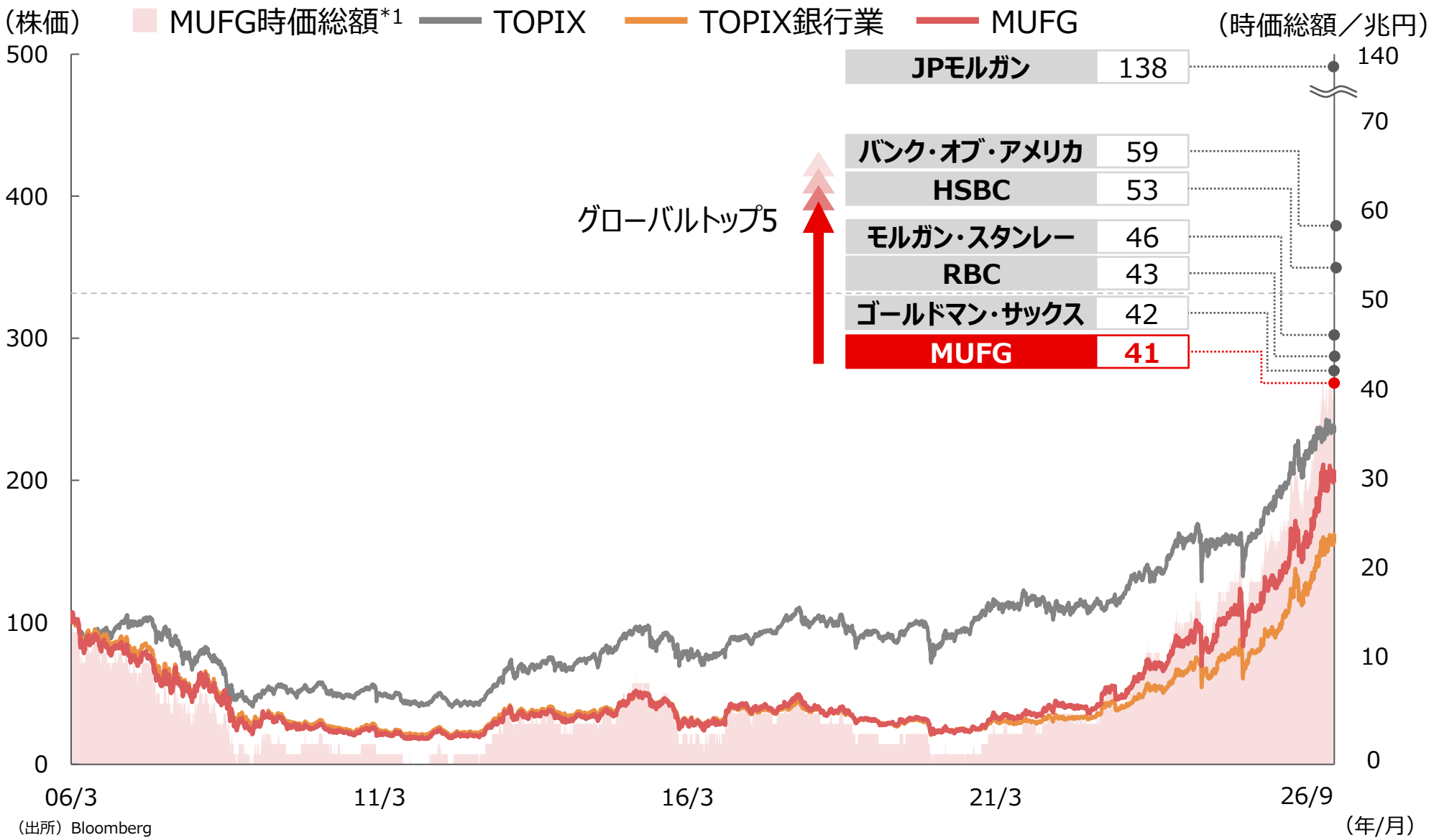
なぜ、MUFGなのか? –マイナス金利解除前後の株価推移



（出所）Bloomberg

*1 2026年9月末時点（自己株式を除く）

マイナス金利導入前からの株価推移



（出所）Bloomberg

*1 2026年9月末時点（MUFGのみ自己株式を除く）

投資家の皆さまからのよくあるご質問

Q

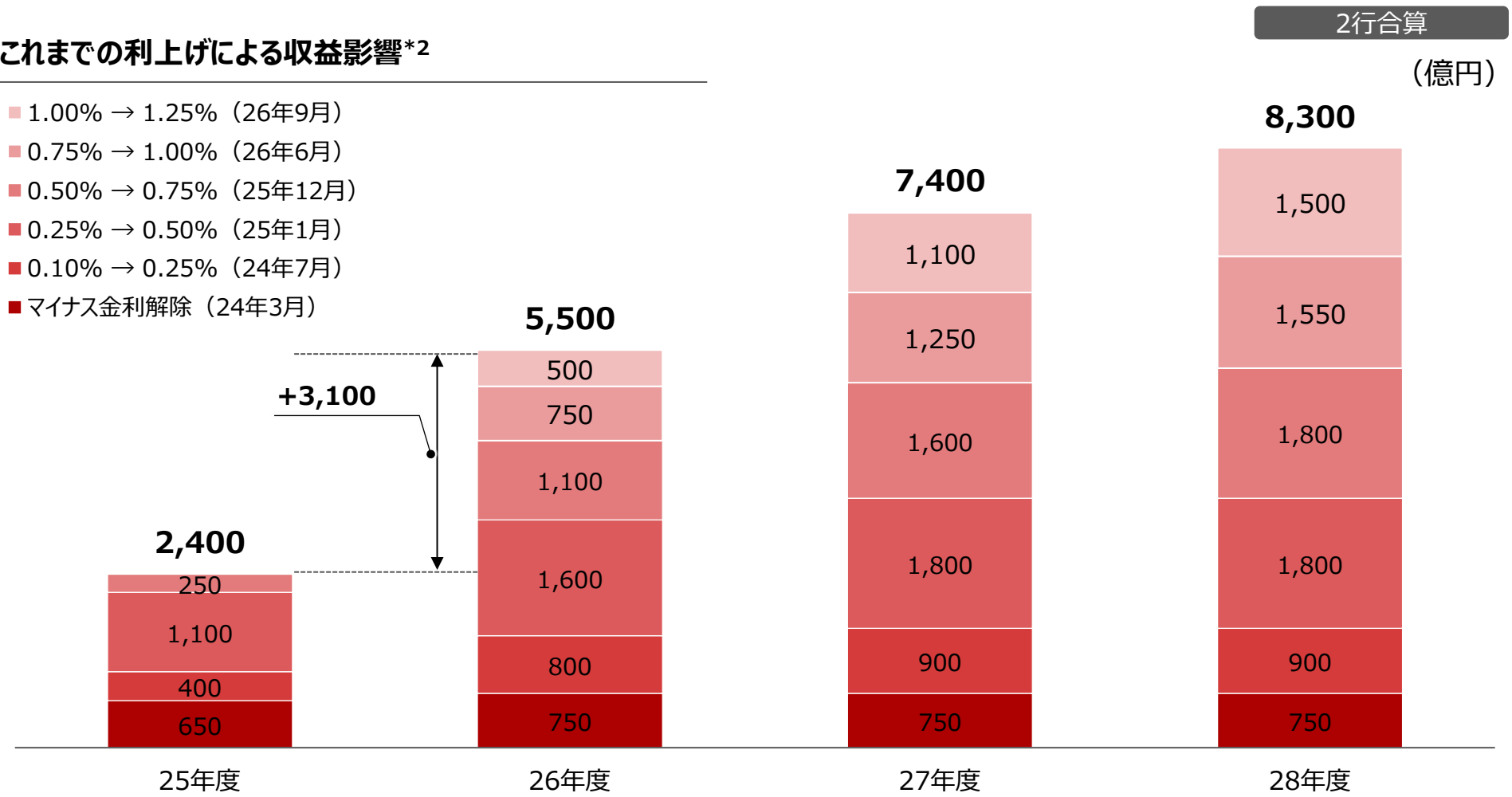
「金利ある世界」による
利益への影響は？

円金利上昇影響による期待

金利上昇による収益感応度

0.25%あたり1,800億円*1 ＋ **B/S構造の変化による更なるアップサイド**

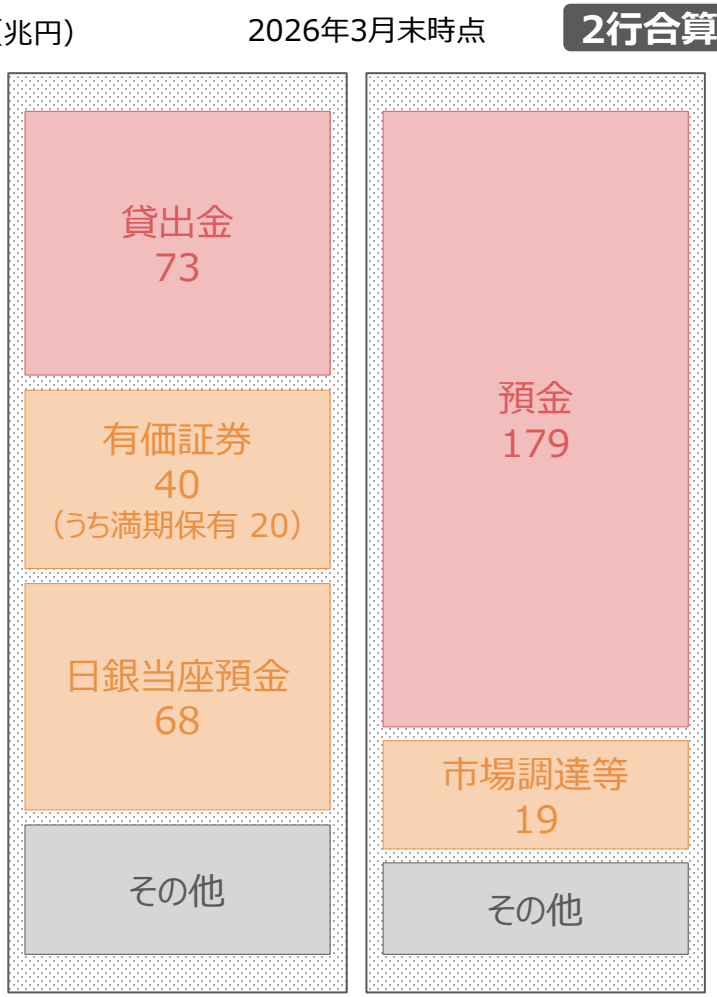
これまでの利上げによる収益影響*2



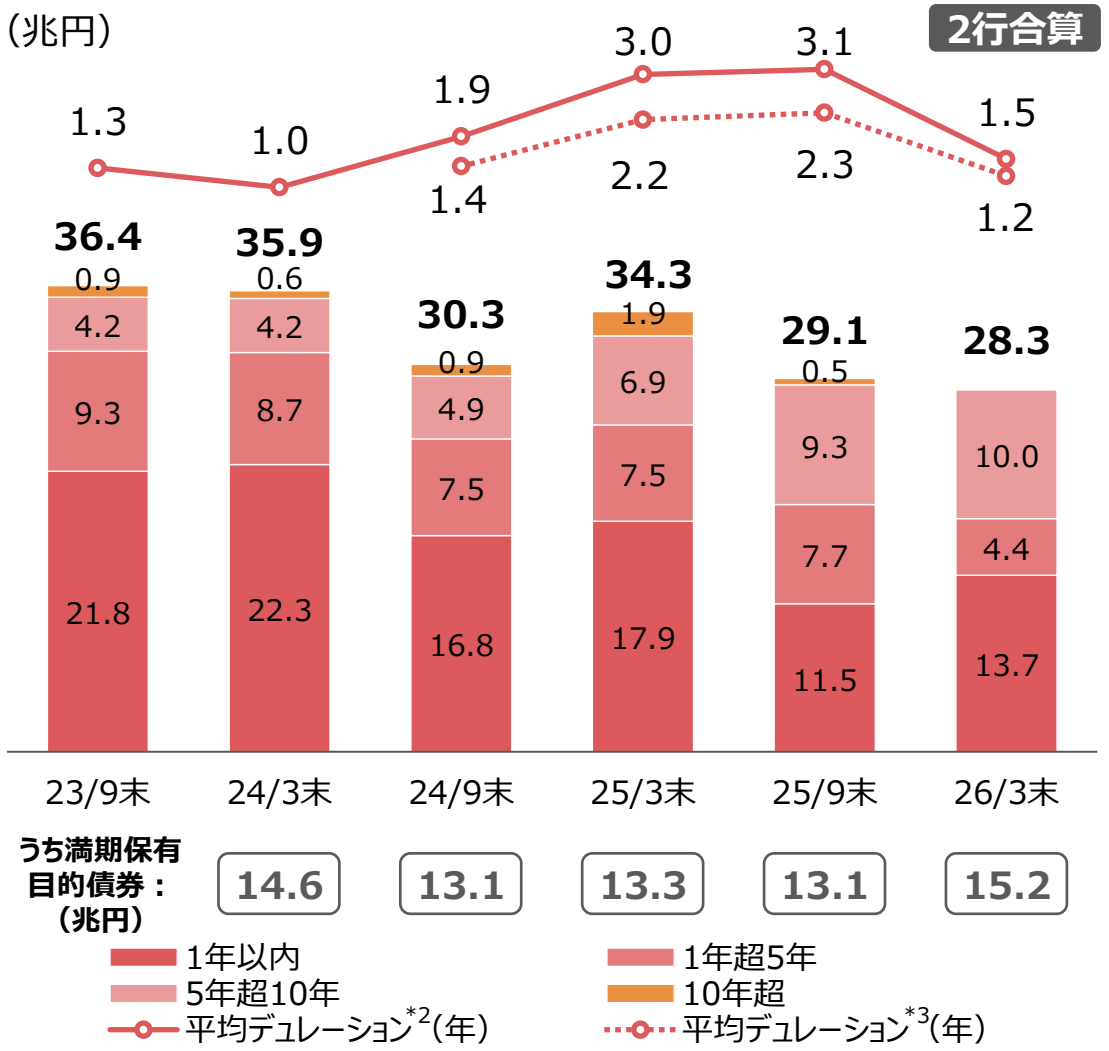
*1 金利即時上昇後、3年目の影響額（1年目 1,000億円、2年目 1,500億円）　*2 試算前提：バランスシート構造は各利上げのタイミングから不変。市場金利の上昇幅は利上げ幅と同じ

円債保有状況

円貨バランスシート



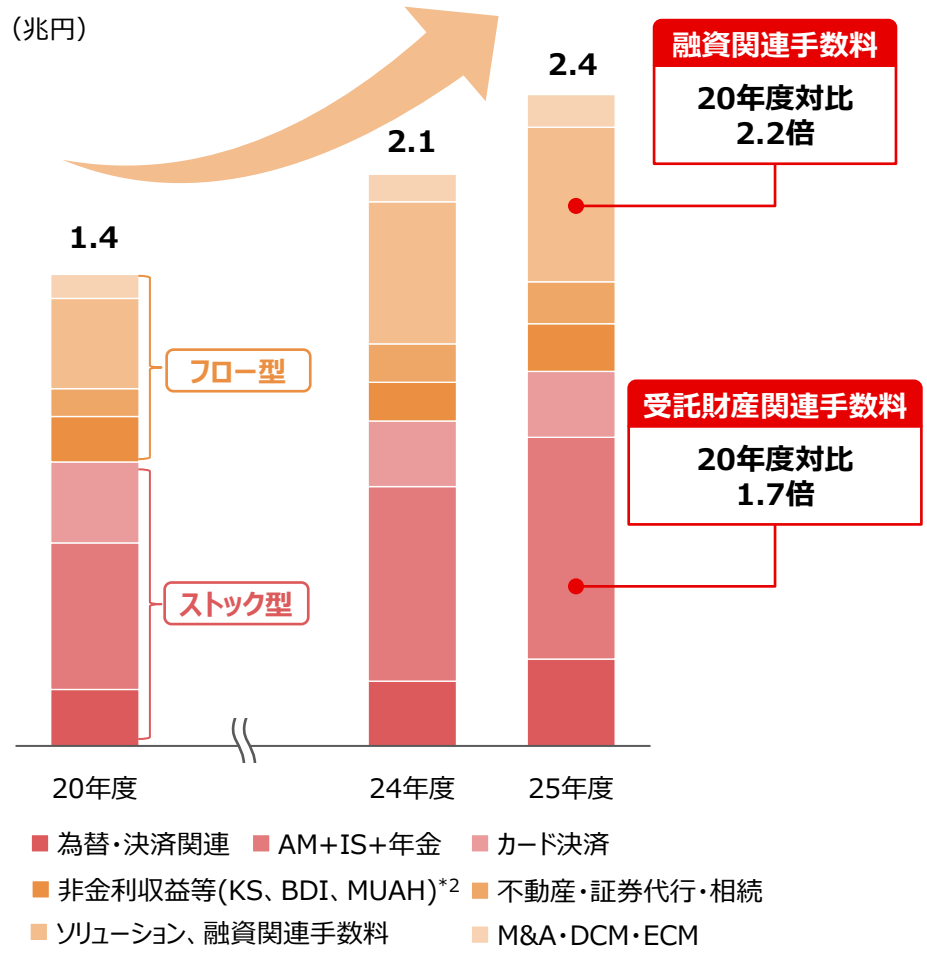
国債残高*1・デュレーション



*1 その他有価証券および満期保有目的の国債　*2 その他有価証券　*3 その他有価証券および政府等向け貸出金

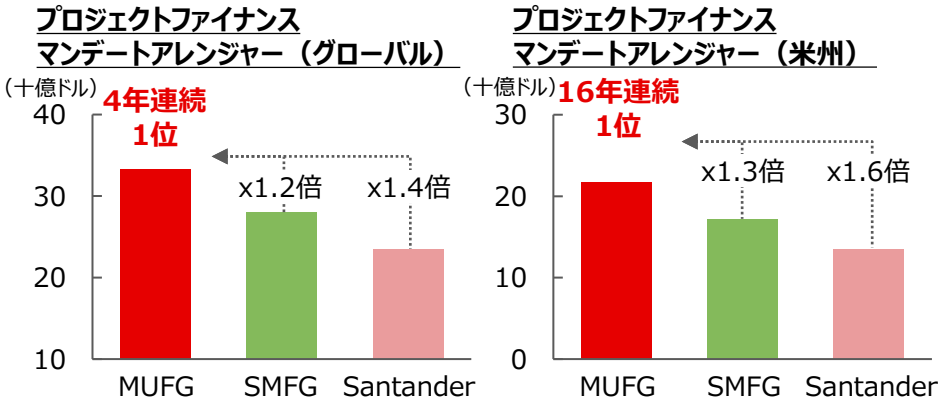
競合他社との違いは「強い手数料収益」

手数料推移*1



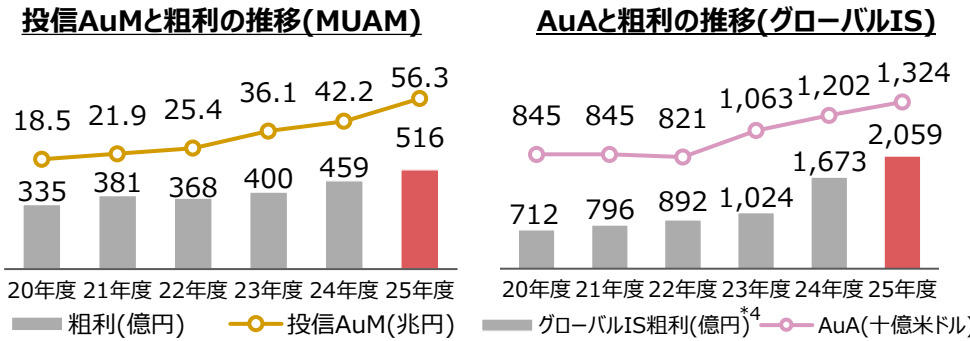
プロジェクトファイナンス*3

圧倒的な市場シェアとO&Dのノウハウが、手数料収益拡大を牽引



AM/IS

国内外において着実に預かり資産を積み上げ、手数料収益拡大



*1 総計は財務会計。内訳は社内管理上の計数（為替影響、基準変更を含む）。20年度のみMUBを含む。 *2 24年度はKS決算期変更影響除く *3 25年度（出典）LSEG
*4 社内管理上の計数

投資家の皆さまからのよくあるご質問

Q

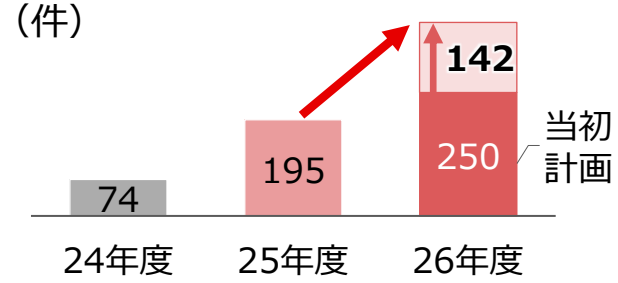
AIへの投資や、
社内での取り組み状況は？

AI活用

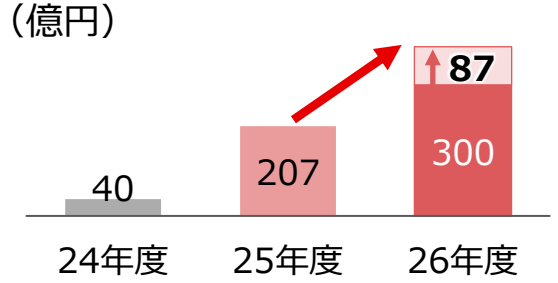
– AIネイティブな企業への変革は計画を超えて進捗。アジャイル変革で加速

AI戦略の進捗

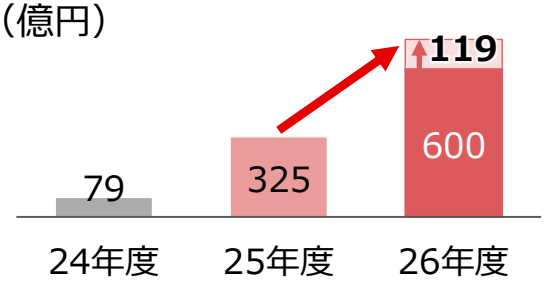
AI業務実装件数（累計） *1



期待効果（累計） *2



今中計の累計投資額

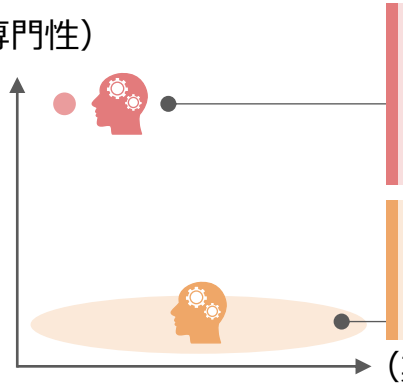


主なAI業務実装例

事業モデルの変革	• コールセンター（対法人・個人）
社員の働き方改革	• 生成AI拡充（ChatGPT Enterprise、Copilot） • AI社内手続ナビゲーター • AIメールモニタリング • システム開発効率化
データドリブン営業	• 提案書生成 • 音声記録化

AIエージェント導入に向けた取組

- 特化型・汎用型双方を活用、各業務に最適なAIエージェントを開発
- AI基盤の構築・暗黙知*3のアセット化→業務プロセス変革へ



【例1】AI融資エキスパート／特化型
（Sakana AIと協働）
- 行内の暗黙知をAIへ
- 融資関連の営業活動をサポート

【例2】Jinba*4／汎用型
- 組織横断で定例業務効率化のワークフローをAIが作成

*1 生成AI、機械学習、SaaS等を含めた数字
*2 今中計開始時を基準に、一定の前提およびロジックに基づき試算した財務効果（みなし効果を含む）。成長要因等は考慮せず、今後の環境変化や目標見直し等により変動の可能性あり
*3 各種規定やマニュアル等形式知には含まれない情報　*4 チャットボットに自然言語で指示することでAIがワークフローを構築。行内システムとも接続予定

投資家の皆さまからのよくあるご質問

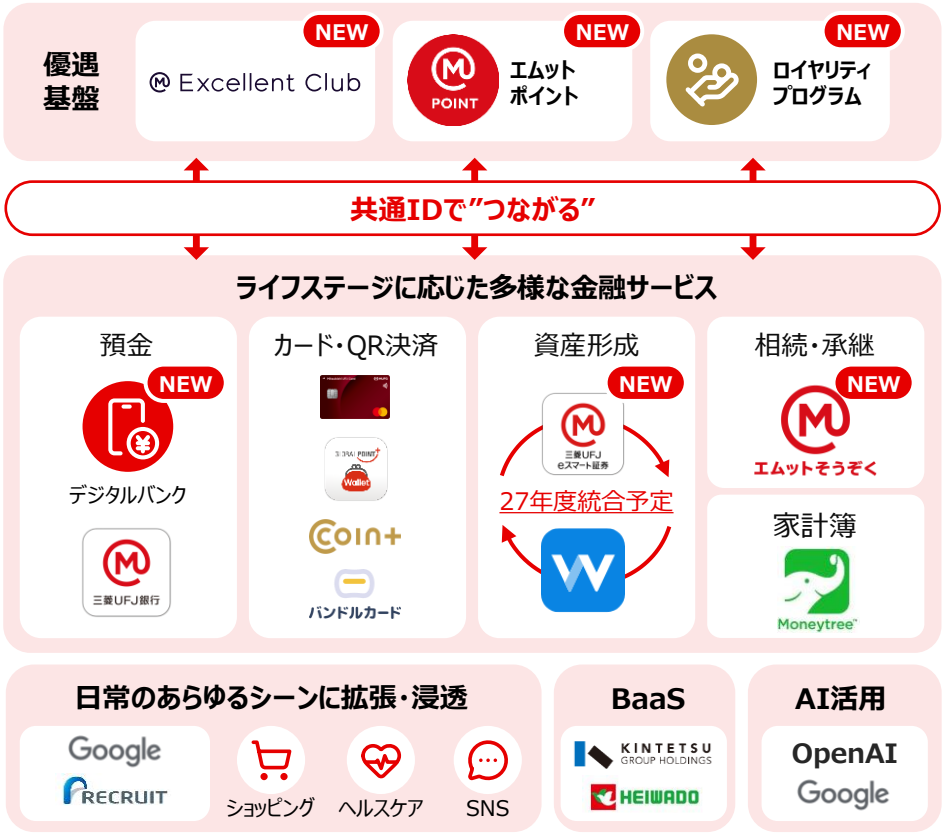
Q

MUFGの
預金獲得戦略は？

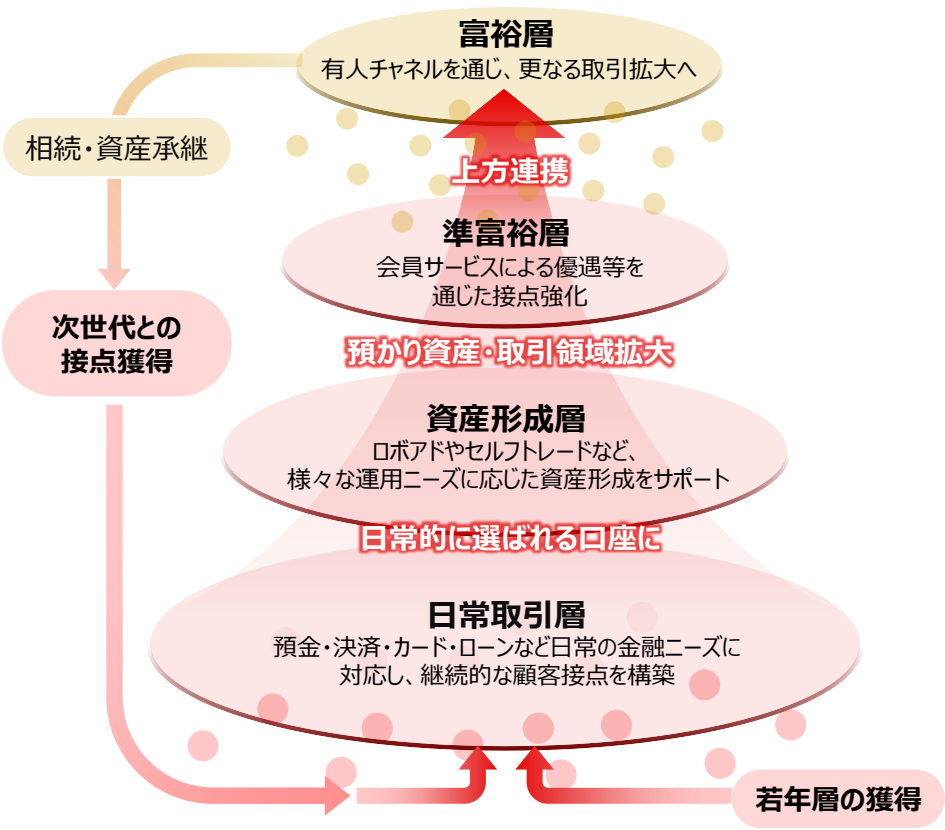
エムットのめざす姿

– エムットを進化させ、生活に溶け込む存在として金融機能を必要とする際に必ず想起される存在へ

めざす姿



戦略の全体像



エムットのステージに応じたサービス展開

AIを活用した資産運用体験の提供

デジタルバンク「エムットバンク」*1との一体運営による銀行・証券垣根のない投資体験

デジタルバンクアプリ	証券アプリ	デジタルバンクアプリ
		
かんたんに運用開始	デジバンアプリと同一のUI/UXでシームレスな連携	MAP AI*2による1人別の最適提案

金利・手数料・ポイントなど、
分かりやすく持続的な顧客メリットを訴求

資産形成層の拡大・LTV向上

富裕層向け会員組織

預かり残高起点	日常取引	コンサルティング
Excellent Club	本邦初	
会員数 75万人 / 預かり残高 50兆円	銀行預かり残高連動型カード	銀行・信託・証券一体のリモートアドバイザリー
預かり残高のリテンション	取引付着	安心感

今後 ネット証券を含むグループ横断で顧客資産を捉え、ニーズに応じた適切なアプローチを通じ、ウェルスマネジメント領域への連携強化

デジタル相続PFを通じた世代超えた取引関係の構築

デジタル上で相続対策を可能に。三菱UFJ信託銀行のノウハウも活用し、世代間の資産承継をサポートすることで預かり資産を維持・拡大

▶ 26年度下期–	▶ 27年度以降
家族で簡単・安心に	**すべての場面をサポート**
もしもの口座バトン 預金を家族へスムーズにつなぐ	**AIコンシェルジュ** 相続の備えをAIが伴走
もしものたくす合鍵 財産管理と相続時の承継に備える	**相続手続きサポート** 相続発生後の期日・Todo管理
家族共有ノート 家族への想いと情報を整理・共有	**デジタル遺産整理** オンラインで相続手続き代行依頼

*1 2026年度後半開業予定　*2 Money Advisory Platform AI

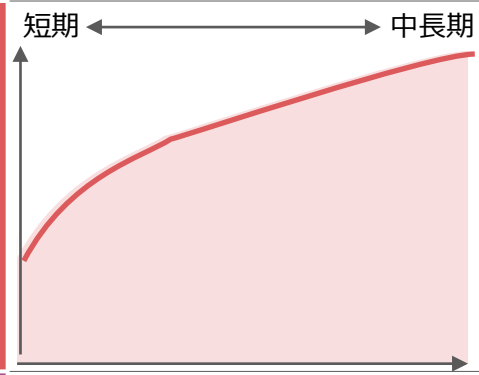
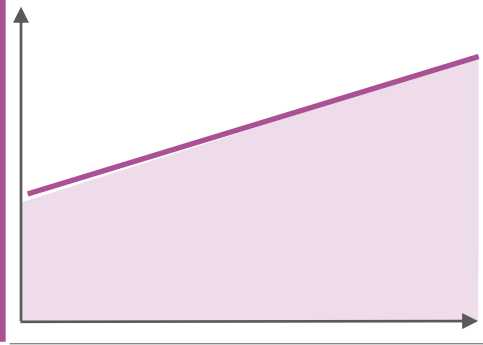
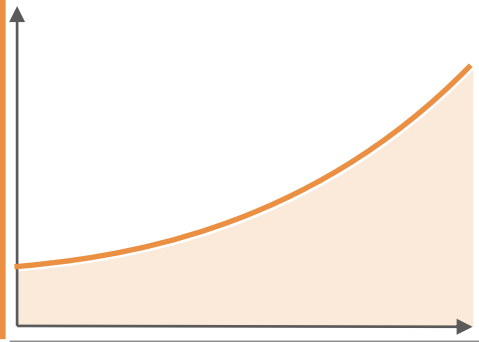
投資家の皆さまからのよくあるご質問

Q

成長を生み出す
MUFGのチカラとは？

MUFGのチカラ –それぞれのポートフォリオが描く成長曲線

▼ 利益成長のイメージ

国内		• **短期：** 政策金利の上昇に伴い国内最大の顧客基盤が収益に大きく貢献 • **中長期：** **事業共創と資産運用機能の強化**を通じ、 社会やお客さまの成長を創り、直接・間接金融両面で支援
米州		• **短期ー中長期：** **投資銀行やプロジェクトファイナンス、O&D**等の強みを有する領域や **モルガン・スタンレーとの提携**が、底堅い成長を実現
アジア		• **短期・中期：** 各国の成長に応じてリソースを適切に配分し、出資先との協働や MUFGの経済圏の確立に注力 • **中長期：** **MUFGの経済圏**がユニークなシナジーを生み出し成長に大きく貢献

MUFGの価値創造モデル

財務・非財務資本 インプット

財務資本

- 預金： **239.4兆円**
- 純資産： **23.7兆円**

人的資本

- 社員：**約16万人**

知的資本

- リテールビジネス進化
- 「AI Native」への変革

社会関係資本

- 顧客基盤
- 個人：**約3,300万口座**／法人：**約100万社**
- 拠点数：**国内約431**／海外：**約1,900**

自然資本

- エネルギー総使用量：**718,406MWh**

経済価値・社会価値

企業価値向上のための戦略

成長戦略の進化

社会課題の解決

企業変革の加速

企業価値を支える基盤

「世界が進むチカラになる。」

ステークホルダーに提供する価値 アウトカム

財務資本

- 親会社株主純利益：**2.7兆円**
- ROE：**12%程度**（東証定義）
  ※2026年度目標

人的資本

- 国内女性マネジメント：**27%**（2026年度）
- エンゲージメントスコア：73%以上

知的資本

- AIを活用した圧倒的なプラットフォーマーへ

社会関係資本

- アジアにおけるMUFG経済圏構築

自然資本

- 投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量**ネットゼロ**（2050年）
- 自社の温室効果ガス排出量**ネットゼロ**（2030年）

MUFG Report 統合報告書



アクセス方法

三菱UFJフィナンシャル・グループホームページ
＞IR（投資家情報）＞各種レポート
＞統合報告書・ディスクロージャー誌

https://www.mufg.jp/dam/ir/report/disclosure/pdf/ir2026_all_ja.p



統合報告書　ご紹介動画

【統合報告書解説】三菱UFJフィナンシャル・グループ



YouTube・ログミーFinance公式チャンネル

世界が進むチカラになる。

変化の速い時代、全てのステークホルダーが課題を乗り越え、
持続可能な未来、新たなステージへと進もうとしています。
その思いを叶えるチカラになること、そのために全力を尽くすこと。

これが未来に向けて変わらない
MUFGの存在意義です。